

溝辺小学校 校長室だより

No.47

互いを認め、共に挑戦する児童の育成

1 素晴らしい歌声でした

昨日実施された「市小・中学校音楽のつどい」に、3・4年生が出場しました。午後の部は、国分南小学校・三体小学校・溝辺中学校・日当山小学校・日当山中学校、そして本校の6校でした。各学校、工夫された内容で素晴らしい発表でしたが、その中でも本校の合唱の声が一番だったと思います。また、みずきさんが、本当に楽しそうに体を揺すりながら歌っているのを見て、微笑ましく思いました。

大きな舞台に緊張していたと思いますが、立派な発表でした。



大規模校・小規模校の出場でした。全校生徒5人の三体小学校の子供たちも大規模校に負けないくらいの合唱・合奏でした。国分南小学校は4年生全体での合唱・合奏でしたが、日当山小学校はクラスごとの合唱でした。本当に色々なパターンの合唱や合奏を聴くことができました。特に、最後に出場した日当山中学校の吹奏楽部の演奏は素晴らしく、帰り際にりょうすけさんが、「校長先生、日当山中学校の吹奏楽部の演奏はすごかったですね」と言ってきたことから、子供たちの心にも響いたものと思います。

ゲストの演奏に対しての米山ゆうりさんのお礼も言葉も、落ち着いてはっきりと伝えられていて、素晴らしかったです。舞台袖では、大絶賛だったと聞きました。

2 一筆啓上（日本一短い手紙）

昨年度の学校経営要録を見直していると、この時期に一筆啓上のことを記事にしていました。このコンクールは、福井県坂井市丸岡町が実施しており、簡潔で要を得た手紙として有名な「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」にちなんでいます。令和6年度の入賞作品を紹介します。

ママへ

ママがぼくを産んだしゅんかんに、ぼくの時がはじまった。
山田 小太郎（10歳 埼玉県）

職員室の会話で、「かわなべ青の俳句」が出ていました。1学期の俳句の作品や夏休みの作品を、是非出品してみてもいいですね。

おこられてる時へ

お母さんにおこられている時、ぼくは頭の中で歌を歌う。ああもう五曲目だ。
田中 翔太（11歳 東京都）